

DNPHプレカラム誘導体化法によるホルムアルデヒドの測定

水道基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法

(平成15年7月22日厚生労働省令第261号

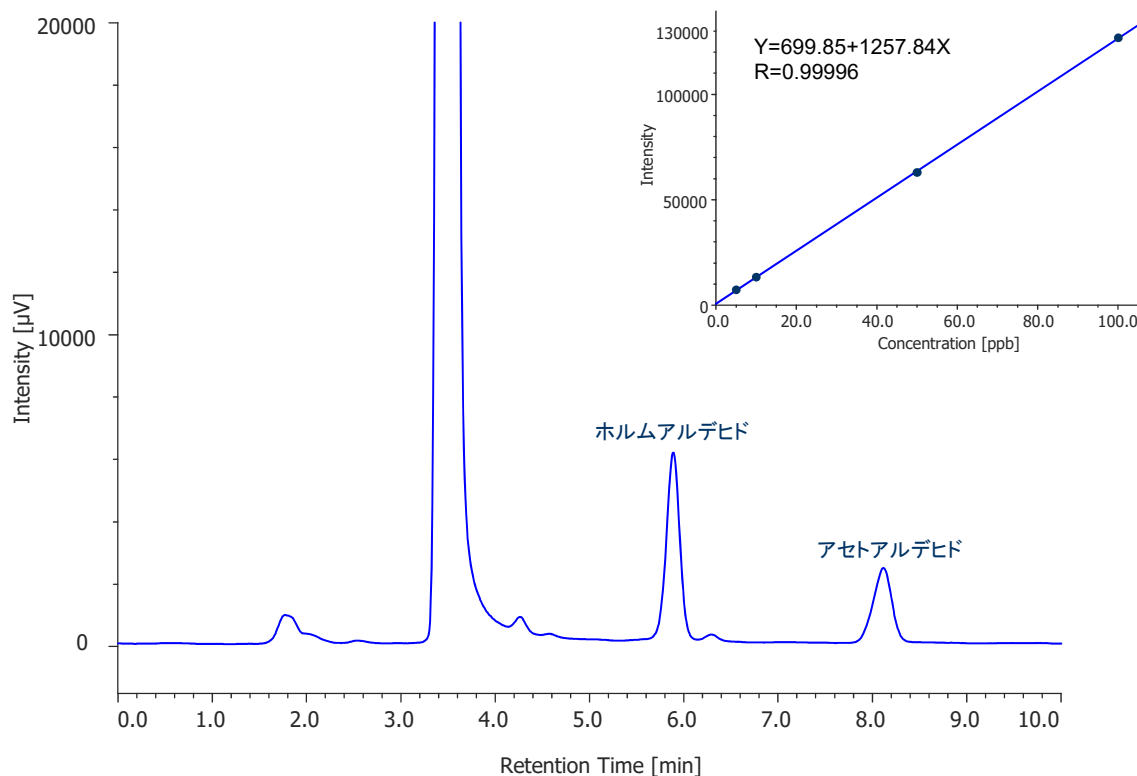
[平成28年3月30日厚生労働省告示第115号])に基づく

<測定条件>

カラム	: J-Pak Vario XBP C18-L (4.6 mm I.D. × 150 mmL, 5 μm)
検出	: UV-360 nm
移動相	: 水/アセトニトリル (55/45)
流量	: 1.0 mL/min
カラム温度	: 40 °C
注入量	: 50 μL
測定試料	: DNPH誘導体化ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド標準溶液

<誘導体化法>

試料溶液10 mLに20% リン酸水溶液0.2 mL、0.1% 2,4-ジニトロフェニルヒドラジン (DNPH) アセトニトリル溶液 0.5 mLを加え混合し、室温で20分静置。



Keyword : 水道法, 水道水質基準, 水質検査, Vario XBP C18-L, C18カラム, UV検出器, ホルムアルデヒド, 2,4-DNPH, 2,4-ジニトロフェニルヒドラジン, プレカラム誘導体化